

シリーズ第四回

研究力強化への処方箋を 実効性あるものとするために

2022.3.15 (火) 18:30~20:00

無料 [定員
500人]

Zoomにて開催

<https://www.scirex-openforum.info/>

シリーズ第四回概要

日本の研究力低下が叫ばれる中、科学技術基本法の改正や第6期科学技術・イノベーション基本計画がスタートしました。研究力強化のために、研究力強化・若手研究者支援総合パッケージ、10兆円規模の大学ファンドの創設、地域の中核となる大学振興パッケージ策定などの様々な施策が進められています。私たちは、これらの施策によって日本の研究力が向上すると期待して良いのでしょうか、あるいは施策を実効性あるものにするために残された課題があるのでしょうか。

本セッションでは、イノベーションの源泉となる科学技術と研究力に焦点を当て、その政策研究の最前線について紹介するとともに、現在の施策が有効に機能することを阻んでいる課題や見過ごされている課題はないか、政策研究の視点から検討します。

パネリスト



小泉 周

自然科学研究機構／特任教授



小泉 秀人

一橋大学イノベーション研究センター／特任講師



長根(齋藤) 裕美

千葉大学大学院社会科学研究院／教授



福本 江利子

広島大学大学院人間社会科学研究所／特任助教

モデレータ



林 隆之

政策研究大学院大学／教授
SciREXセンター／センター長代理
GISTプログラムディレクター

SciREXオープンフォーラム2022

政策科学の新たな挑戦 ー第6期科学技術イノベーション基本計画の実効性の確保に向けてー

全体概要

2021年、日本の科学技術イノベーション政策は、新しいスタートをきりました。

昨年3月に閣議決定された第6期科学技術・イノベーション基本計画では、Society5.0の未来社会像として「持続可能性と強靱性を備え、国民の安全と安心を確保するとともに、一人ひとりが多様な幸せ(well-being)を実現できる社会」を掲げています。

また、その実現に向けては、自然科学のみならず人文・社会科学も含めた「総合知」による社会変革と、知・人への投資の好循環を起こしていくこととしています。学際研究の推進や若手研究人材の育成については繰り返し議論がなされてきましたが、これまでの成果に加え、今後何に取り組むことが求められているのでしょうか。日本の科学技術力の再生とグローバルな視点も含めた社会課題への貢献に向けて、新たに挑戦すべき課題はどこにあるのでしょうか。

本フォーラムでは、目指す未来社会に対し、科学技術イノベーション政策の科学がどのように貢献できるのか、共に考えていきます。

スケジュール

2022年2月3日(木)	19:00~20:30	東京大学
第1回	第6期科学技術・イノベーション基本計画を支える宇宙技術	
2022年2月10日(木)	20:00~21:30	GRIPS
第2回	バイデン政権の科学技術イノベーション政策ーScience Integrityの視点ー	
2022年3月7日(月)	18:30~20:00	GRIPS
第3回	持続可能な社会システム実現のための科学技術イノベーション政策をどう設計していくか~アフターコロナ時代に向けて~	
2022年3月15日(火)	18:30~20:00	GRIPS
第4回	研究力強化への処方箋を実効性あるものとするために	

科学技術イノベーション政策に関心のある政策立案関係者、研究者、企業、NPO等マルチステークホルダーによる政策形成や推進に向けて、多様な方々のご参加をお待ちしております。